（大正八年三月七日　郵便物認可　郵三種）

廿七日刊

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十五
編輯兼發行人　岡田虎次
印刷所　福島縣石城郡平町紺屋町十五
印刷所　加納兵版所
發行所　磐城時報社
一部金弐錢　一ヶ月金卅錢
廣告料一行十五字詰金五十錢
▲日刊（日曜、祭日休刊）

体育講習會開催

明日から三日間平商校で

前オリンピック選手監督の

高田通氏來平指導

石城体育協會では協會加盟の郡下体育團体全部の參加を求めて明二十八日から三日間平町平商業學校々庭に於いて體育講習會を開催することになつた。即ち講習科目は一、體操二、各種競技三、球技。の三種目で講習の三日間は特に大日本体育聯盟から前オリムピック派遣日本選手軍の陸上チーム監督として渡米した著名の高田通氏が特に講師として來平する外斯界一流の下山田、田子、小林の三氏が直接指導する筈で今年シーズン掉尾の行事として期待されてゐる郡下青年競技大會を目前にしてその講習結果は各方面から注目されてゐる。

郡下武術大會

來月二日擧行

在郷軍人會石城郡聯合分會主催の第七回武術大會は來る九月二日午前八時から

△射撃　神谷村東部射撃場
△銃劍術　平商業武道場
△軍刀術　第一小學校講堂

の三ヶ所に於いて盛大に擧行することゝなつた。

平署新撰組の

猛者不良と亂闘

高松四段菅家二段が

鎌田踊陣の劍戟

僅に十六日宵に小雨があつただけで割合の好天候に空前の人出賑ひを呈した平町の舊盆三日間

× × ×

盆十六日の二十五日午前四時頃鎌田遊廓内で盆踊警戒中の平署新撰組隨一の猛者剣道四段の高松巡査と柔道二段の菅家巡査が住吉樓前廣場を警戒中突如背後から飛出した踊奴姿の壯漢四名が躍りかゝつて下駄を以つて兩巡査の頭部に一撃を加はへ逃走せんとしたのを傷手に屈せず兩巡査協力して四名を相手に大亂闘を演んじた揚句遂に四名を完全に叩き付けて取り押さへ本署に引致取調の上留置場に叩き込んだが、此の四名は平町地廻りの不良鎌田町坂本五郎（二一）堤の内稲葉清（二五）同深谷末吉（二七）同鈴木留一（二五）で前夜仲間の淺井長藏（二七）が平署に檢束された復讐に共謀して暴行を加はへんとしたものと判明各かと豫想されてゐる。

綠川町議召喚

密漁事件取調開始

事件の成行非常に注目

平署では今二十七日午前九時平町才槌小路居住鋸商平町會議員綠川喜三郎を召喚川島司法主任が司法室のドアーを堅く閉して極秘裡に何事かを取調中である。事件の内容は綠川町議外數名が過般小川村地内に於いて青酸加理を使用して鯊採みと稱する鮎の密漁を爲した事を同村駐在巡査に探知告發されたが、その後某有力者が事件のもみ消しに奔走してゐたもので平署では該事件の取調を何等の事由によつてか躊躇してゐたと傳へられ不審の眼を向けられてゐた折柄遂に某新聞によつて内容を報導されるに至りそれと關聯してか平署は今二十七日午前一時頃突如發火瞬く間に風呂場を燒盡外に厩一棟を全燒・馳せ付けた消防組の努力により同二時頃鎮火した。發火原因損害等不明、目下調査中であるが放火の疑ひ充分で平署では犯人捜査を開始した。

帝都ギヤングの

共犯二名逮捕

縣社と赤井嶽の寶物を狙ふ

植田署の大捕者

（既報）平署では警視廳の照會により本春東京青山區高樹町郵便局を襲つたピストルギヤング連類渡邊甚内（三四）の共犯として石城郡内郷村大字宮鈴木松之助（四九）同關本繁夫（四二）の行方捜査中この程茨城縣多賀郡松原町石岡炭礦に潛伏してゐると聞き込み特高係總出動逮捕に向つたが風を喰つて逸早く逃走行方を晦ましたので同礦附近を虱つぶしに探査の結果二十四日植田署管内吉村炭礦に潛伏してゐることを突き止めて逮捕したが、兩名は右翼統天塾と關係ある渡邊の命をうけて同塾運動資金捻出のために平町縣社、八幡神社並に赤井嶽藥師の寶物を盜らんとして數回に亘り忍び込んだが何時も未遂に終つたこと彼等の自供により判明した。よつて平署は二十四日兩名を伴ひ兩社寺に於て實地檢證をなし二十五日警視廳員に引渡した。

玉川助役

野崎村長に一任

來月三日村會

玉川村西丸一氏の助役辭任による後任助役は村議宮内、齋藤兩氏は去る四日免職されたが、これを不服として二十三日大和田村長に對し

一、町村長が郡下吏員を罷免する町村制第何條によるか明示されたい

一、町村長に吏員の任命權限を附與するは事務の圓滿を期すの抗議書を提出した。この前例ない抗議書に對し如何に回答すべきかを二十四日招集の村會に附議結局縣に對して回答方法を稟請するに一致したが、免職に對して公文の抗議書を提出したことは前代未聞であると云はれてゐる。尚ほ同人は豫備軍曹で同村兵事係として勤務中職務怠慢の結果免職になつたものと云はれてゐる。

低利事業資金借入れ

平、小名、四倉、玉川決定

政府貸出による低利事業資金借入れを申込んだ郡内町村中今二十七日平稅務署を通じ左記町村の貸出し決定した旨通知あつた

△平町七千五百圓（借入申込一萬五千圓）△四倉一萬三千圓（申込全額）△小名濱九萬圓（借入れ申込十一萬三千圓）△玉川一萬圓（申込の全額）以上四ヶ町村

尚前記事業資本金は三ヶ年据置き利子三分二厘の低利十五ヶ年賦償還と言ふ頗る好條件である

高久の小火騒ぎ

風呂場、厩を全燒す

放火の疑充分？

高久村大字下山口農志賀善吉方裏手風呂場から今二十七午前一時頃突如發火瞬く間に風呂場を燒盡外に厩一棟を全燒・馳せ付けた消防組の努力により同二時頃鎮火した。發火原因損害等不明、目下調査中であるが放火の疑ひ充分で平署では犯人捜査を開始した。

國道舗裝

今日から續行

平町國道舗裝工事は舊宇藺盆會の爲め一時中止であつたが盆三日も無事に過ぎたので平土木監督所では今二十七日から工事を續行する事になり二町目のピチマル工事、一町目全部の堀鑿工事に取りかゝつた。

三寶保育園に

三十圓寄附

四倉町本町青年團では菊田團長以下三十餘名の奔走で此程四倉座に於て演藝大會を開き純益金三十餘圓を大浦村上仁井田最勝院内三寶保育園に寄附した。

誠になつた吏員が

村長に抗議提出

町村制何條で誠首した？と

村會で回答案協議

磐崎村役場兵事係書記吉田政治出のために平町縣社、八幡神社並に赤井嶽藥師の寶物を盜らんとして數回に亘り忍び込んだが何時も未遂に終つたこと彼等の自供により判明した。よつて平署は二十四日兩名を伴ひ兩社寺に於て實地檢證をなし二十五日警視廳員に引渡した。

通學路と

講堂建設

玉川村では別項の如く政府貸出しの低利事業資金一萬圓の全額借入れ決定したので直ちに豫定の如く中六千圓を投じて小學校の通學道路、殘四千圓を以つて小學講堂の新築工事に着手する自供により判明した。よつて平ことになつた。

電話六四〇番
皆様のタクシーへ
此度は夏にふさはしいすがくしい色彩の……
ニーワクシヨン裝置
新車が入車致しました
自動車の御用命は電話六四〇番を
御呼び下さる皆様を新車と共に從業員一同
御待ち申して居ります。
車も揃ひましたから遠乘の御用には
特に御相談に應じます。
平町二丁目　尼子タクシー
電話六四〇番

蓄膿症
切ラズニ治ル
快鼻湯
本劑は幾多の藥劑ありと雖も他藥の及ばざる良藥であります。左之病症の方は一時も早く服用され病苦を去られよ。
蓄膿症、慢性急性鼻加答兒、鼻汁多加症、頭重、肥厚性鼻炎に靈効あり。
其他鼻骨彎曲症、並に中耳炎に偉大なる神効ありと賞賛されて居ります。
磐城國平町一丁目
家傳胃腸藥　快鼻湯　製造元
水野藥局
責任製劑者　藥劑師　水野清一
電話六九九番

質物一般
營業時間　午後九時迄
三井質店
平町四丁目川岸通り
電話六〇六番

入學は毎月初日
磐城女子洋裁專門學校
平町白銀町一五

東京優良星印
フトン袋
旅行に。婚禮に。保存に。非常用に……
一家の御便益を一個で役立てます。
ロップ式。バンド式。大小兼用式。各種
平二三　電五三
中野洋品店

東京株式取引所　短期賣買物取引員
治角治商店
電話茅場66　代表
東京市日本橋區兜町一ノ四電略（カヌハ）カクヂ
平町の株式店
公社債　株式現物賣買
治角株式店
株式日報御報進呈
營業案内御報參上
平町本町三丁目　七十七銀行隣　大谷時計店側
電話七三番

吸入用酸素ボンベ
純度99%
度量衡
モノサシ　マス　ハカリ
計量器
体温器　寒暖計
◉秤ノ取緒（カリトリヲ）・錘（ダマイト）糸・修覆（トリカヘ）致シマス
◉寫眞機材料一式
開内藥局
電話四〇番

新特約　三菱ノ自轉車
マーリ號特徴
第一、堅牢輕快
第二、價格底廉
第三、盗難豫防
第四、寄難保險
第五、運搬車代用
第六、婦人兼用
第七、附屬品全部マーク入
代理店
エビスヤ自轉車店
電話六六四番

磐城共濟病院（福島縣平町電話六四一番）
（毎日午前八時ヨリ午後五時迄診療）
內科・小兒科　院長　石山謙郎（電話六四一番）
產科　婦人科　醫學博士
外科　耳鼻咽喉科　岩手醫學士　平賀一忠
皮膚泌尿器病科　副院長　五十嵐雄二（電話三七〇番）
花柳病科　醫學博士
X光線科　物理療法科　醫學士　坂本眞一郎
術生試驗所　醫學士　前澤正（電話二七二番）
藥局　醫學博士　石山謙郎
技術員　獸醫　高後利雄
藥劑局長　藥劑士　吉本孝平
事務長　鈴木寶雄
◎夜間診療開始（毎夜午後十時迄）　◎病室完備入院隨意

開業御披露
貸切の御用命は
電話七十九番へ
新車を購入致しました
迅速親切――御客様本位
平町三丁目平警察署通り
平タクシー
電話七九番
◎長距離は特に御相談に應じます

磐城鐵工機械同業組合

耳鼻咽喉科專門
病室完備
自炊ノ便アリ
平町田町（電六九一）
山内醫院
醫學士　山内亨吉